

※事務事業コード／ 0110040206

平成 23 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 教育委員会	課 千代田公民館	事業年度期限	●無 ○有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 100402公民館費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード
事業名	06千代田公民館管理事業						3212
目的 (成果)	地域住民の交流の場として、地域コミュニティづくりのために維持・管理する。						
内容 (概要)	市民の多種多様なレクリエーション及びコミュニティづくりの活動の拠点として安全性を確保し、快適な環境を提供するため、維持管理を行うとともに設備・機器等の点検及び修繕を行う。						

■事業費 (単位:円)

平成21年度 決算			平成22年度 決算			平成23年度 予算		
事業内容	公民館既存施設の維持管理及び修繕工事と講堂施設の修繕と備品の充実や環境の整備をできるよう施設の整備充実を図った。		公民館既存施設の維持管理及び修繕工事と講堂施設の修繕と備品の充実や環境の整備をできるよう施設の整備充実を図った。		公民館既存施設の維持管理及び修繕工事と講堂施設の修繕と備品の充実や環境の整備をできるよう施設の整備充実を図る。			<b>【特記事項】</b>
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金			
	県支出金		県支出金		県支出金			
	市債		市債		市債			
	その他		その他		その他			
	一般財源	14,008,261	一般財源	14,493,485	一般財源	13,868,000		
	計	14,008,261	計	14,493,485	計	13,868,000		
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	07	賃金	20,000	07	賃金	20,000		
	09	旅費	6,560	09	旅費	4,000		
	11	需用費	6,555,185	11	需用費	7,176,336		
	12	役務費	310,848	12	役務費	282,148		
	13	委託料	3,843,167	13	委託料	3,739,173		
	14	使用料及び賃借料	3,235,403	14	使用料及び賃借料	3,235,403		
	16	原材料費	28,298	16	原材料費	28,825		
	27	公課費	8,800	27	公課費	7,600		
		決算額計	14,008,261	決算額計	14,493,485	予算現額計	13,868,000	
(参考)	H21当初予算額	14,331,000	H22当初予算額	14,022,000	伸び率(%) 対・決	-4.3	対・予	-1.1
人件費	職員人件費 2.0 人工	15,910,000	職員人件費 2.1 人工	13,868,000	職員人件費 0.60 人工		4,828,200	
総事業費	歳出+職員人件費	29,918,261	歳出+職員人件費	28,361,485	歳出+職員人件費		18,696,200	

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	延べ床面積	㎡	公民館施設の延べ床面積	目標	2,579	2,579	2,579
				実績	2,579	2,579	
成果指標	延べ利用者数	人	公民館本館及び講堂施設の延べ利用者数	目標	23,000	23,000	22,000
				実績	21,584	22,656	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

<input checked="" type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input checked="" type="radio"/>	A:高い(義務)
<input type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>  
 地域住民の交流の場として、地域コミュニティづくりのために市民にとっては、学習、憩い、集会等重要な施設である。

目標達成状況の点検

<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input checked="" type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>  
 利用者の安心、安全を考慮した環境に努め、更なる利用促進を図るため施設の管理を行っていきたい。

実施内容・方法の点検

<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input checked="" type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input checked="" type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>  
 地域住民の交流の場として、地域コミュニティづくりのために環境整備と維持管理を図りたい。

■課題と対応方策

課題	老朽化に伴う施設の不具合が年々増加し、修繕等による維持管理費の縮減は難しく施設利用の危険性が増している。
次年度における対応方策(改善方策)	施設整備点検の充実、冷暖房経費を極力押さえ、使用者の理解を得て、コスト削減を図る。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	老朽化している施設設備の修繕工事

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	岡本 菊文 担当課名 千代田公民館
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input checked="" type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	施設の老朽化に伴う、設備や機器の不具合が発生し、修繕計画を含めた管理事業の見直しと建物、機械設備等の延命に努め、例年並みの維持管理に努める。

二次評価【部長評価】

部長名	仲川 文男 担当部名 教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認

拠点施設であり、施設の安全確保の観点から適正な維持・管理は必要。

※事務事業コード／ 0110040207

平成 23 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 教育委員会	課 千代田公民館	事業年度期限	● 無 ○ 有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 100402	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	市民の関与	総合計画 コード
事業名	07千代田公民館運営事業						3212
目的 (成果)	生涯学習の中核として、時代に即した生活・趣味・教養・スポーツ・親子ふれあい・健康増進などの講座を通じ、地域住民の教養・文化意識の高揚に努める。						
内容 (概要)	地域の実態と特性を踏まえ、自ら学習活動に参加し、その中で学ぶ楽しさや喜びを感じながら自己実現をはかれるよう、学習機会の提供や専門の講師による各種講座を開催する。						

■事業費 (単位:円)

	平成21年度 決算			平成22年度 決算			平成23年度 予算			
事業内容	専門の講師による講義、実技指導による各種講座を開催した。			専門の講師による講義、実技指導による各種講座を開催した。			専門の講師による講義、実技指導による各種講座を開催する。			
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			県支出金			
	市債			市債			市債			
	その他			その他			その他			
	一般財源	909,500		一般財源	1,035,500		一般財源	1,096,000		
	計	909,500		計	1,035,500		計	1,096,000		
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	08	報償費	909,500	08	報償費	1,035,500	08	報償費	1,096,000	
		決算額計	909,500		決算額計	1,035,500		予算現額計	1,096,000	
(参考)	H21当初予算額	1,098,000		H22当初予算額	1,096,000		伸び率(%) 対・決	5.8	対・予	
人件費	職員人件費 1.0 人工	7,955,000		職員人件費 1.0 人工	8,087,000		職員人件費 0.50 人工		4,023,500	
総事業費	歳出+職員人件費	8,864,500		歳出+職員人件費	9,122,500		歳出+職員人件費		5,119,500	

【特記事項】

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	講座及び教室の開催数	回数	講座及び教室の開催数	目標	20	20	20
				実績	19	20	
成果指標	参加者数	人数	延べ参加者数	目標	1,000	1,000	1,000
				実績	830	1,053	

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

自ら学習活動に参加し、学ぶ楽しさや喜びを感じながら自己実現をはかれるよう、15講座4教室を開催し、学習環境づくりに努めた。

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

参加者が少なく中止になった講座が1講座あったが昨年程度の受講者数があり、概ね目標の成果が得られた。

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

アンケートを実施して講座を充実していきたい。

■課題と対応方策

課題	受講者に人気のある講座がある反面、参加者数が少なく中止になる講座がある。
次年度における対応方策(改善方策)	アンケート調査を行い、継続性のある講座を中心に実施する。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	人気のある講座は、ステップアップを行い、地域性に富んだ講座を幅広く開講する。

■今後の方向性

<b>一次評価【課長評価】</b>	
評価者	岡本 菊文    担当課名 千代田公民館
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(    年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	地域性に富んだ講座を中心に、老若男女を問わず多数受講できるような各種講座を取り入れ内容を充実し実施を検討していきたい。

■二次評価【部長評価】

部長名	仲川 文男    担当部名 教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	講座・教室の開設には、ニーズを的確に捉え且つ教養性も加味し内容の充実を図り実施する必要あり。